

いちばん星

第18号
星の郷

発行日 平成22年12月1日

発行 社会福祉法人富士宮福祉会
特別養護老人ホーム星の郷

〒418-0035 富士宮市星山字向原1058

TEL0544-23-3302 FAX0544-24-9564

ホームページ

<http://www.hoshi-no-sato.co.jp>

星の郷の遅い秋

今年は猛暑だったせいか、紅葉する時期がずれ、
今頃施設の前のもみじが綺麗に色づいております。
是非一度見に来て下さいね。



AB ユニット

湧玉 宝永

「浅間大社の祭り見学」

毎年恒例になっている富士宮浅間大社のお祭りに十一月五日に行ってきました。

行く数日前から、皆さん楽しみにされ、「雨降ったら困るからてるてる坊主作ろう。」と、入所者様が自主的に何個も作られています。その甲斐もあり、当日は、雲一つない秋晴れになりました。

祭りに向う車の中では、昔行かれた祭りの話をされ、「昔は、子供連れてよく行ったよ。子供が『帰りたくない』と言って泣いたもんだよ。」と色々話してくれました。

祭り会場につくと、早速お店をキョロキョロのぞかれ、色々買われました。食べ物に大変興味持たれ、タイ焼き、ポテトフライ串かつ、ジャガバター、そばとお腹いっぱい食べられ笑顔笑顔でした。射的をされ、なかなか当らず、みんなで大笑い。最後にはサーブスで近くにもらいやと当たって、他のお客からも拍手され、ちよっとテレ笑い。最後に太鼓の山車をみられ、とても感動され泣かれる入所者様もありました。

帰ってこられてからも、「楽しかった。ありがとう」と何度もお礼をされていました。職員もその言葉を聞き、介護の仕事をしていて良かったと思いました。

これからも沢山、心に残る思い出作りをしていきたいと思っています。



CD ユニット

貴船 木花

「お寿司とソフトクリーム」

日本人が好きな食事と言えば「お寿司」。私達のユニットの入所者様達の中で、特にお寿司好きの方四名とそのご家族二組で、市内の回転寿司へ行ってきました。

約半年ぶりのお寿司屋さん。開店と同時に入店し着席すると、さっそく皆様から「まぐろ」の注文。日本は「まぐろ」の消費が、世界で一番と言うのも納得です。

その後も「たまご焼き」「海老」等々、好みの物をそれぞれ召し上がり、満足された様子でした。

お腹が満たされ車に乗ると眠くなりますが、眠ってはられません。今度は朝霧方面へドライブです。右手に富士山が見えると入所者様達から「富士山だよ。こんな近くで見たいのは何十年ぶりかな」「私もそうだよ」と会話をされていました。到着したのは「まかいの牧場」。

今回、参加されたT様がソフトクリームを大好きだとの事で、下車するとさっそくソフトクリーム売場へおかわれました。同行された娘さんによるとペロリとたいらげましたそうです。又参加された百歳の入所者様もソフトクリームを半分しか食べられませんでした。が、「おいしいけど、冷たいね」と笑顔で話されました。

時間の都合で入園はできませんでしたが、施設では味わえない味覚を皆様それぞれ楽しめました。

帰りの車中では半年前に入所されたM様が自ら職員に「良かったよ。又来させてね」と言われ、街中に車が入ると「この店は昔、繁盛しただよ。でもこの頃は今一つだね」「あつ、この店も知ってるよ」と真剣に左右を眺め上機嫌でした。

同行した職員達もM様が外出した時の喜びように驚き、M様の知らなかった一面を知る事ができました。

今後入所者様の笑顔と入所者様を知る事ができる、外出を企画したいと感じた十月でした。



EF 富士浅間 ユニット



打ち上げ花火やナイアガラでは、大きな音に両耳を塞いでしまう方や、御家族様やスタッフの腕にしがみ着く方もいらっしやいました。色とりどりの花火に「きれいですごい。」等歓声が駐車場内に響き渡りました。花火大会が終了しフロアに戻られた際にも、皆様より「きれいだっだよ。」「久しぶりにあんなきれいな花火が見れて良かった。」「ありがたうね。」等感謝の言葉を頂きました。

玉入れでは、普段EフロアFフロアの交流が少ないため、混合チームを二チーム編成し対抗戦を行いました。普段交流が少ないとは思えないほど、お互い協力し合い相手チームに負けまいと力ごめがけて玉を入れていました。車イス競争では、パン食い競争を折り混ぜ行いました。普段車イスを動かさない入所者様もパン目掛け、一生懸命こいでおられました。スタッフも、入所者様の気持ちを知ろうと車イスを使用し、パン食い競争に参加。入所者様から「頑張れ、頑張れ」と声援して頂き、少し照れくさかったけれど、なんとかパンを取る事ができました。



「運動会」

平成二十二年八月六日(金)一九時、駐車場にて盛大に花火大会が開催されました。遅い時間にも関わらず大勢の御家族様が来設され入所者様と御一緒に打ち上げ花火や手持ち花火を楽しまれました。

特

GH 朝霧白糸 ユニット



愛情を込めて作ったホットドッグは大成しているんなところで「おいしい」と言う声が聞こえてきました。これからも、入所者様と一緒に楽しくておいしいおやつを計画していきたいと思っています。

「かつ銀外レク」

秋といえば、食欲の秋ということでGHフロアは、十月に「かつ銀」へとお昼ご飯を食べに出掛けました。

車内に乗り込み、目的地に着くまで見慣れない景色に目をキラキラと光らせていました。メニュー表を見て「これにしようか迷っちゃう」と言いながら、コースカツやカキフライやエビフライなど好きな物を選び注文しました。

頼んだものが来るまでの間、すり鉢でゴマをつぶす体験も出来てニコニコと喜んでいました。注文したものが運ばれると「大きいね」と言いながら、施設ではあまり召し上がらない入所者様も手づかみで「おいしい」と召し上がっていたり、デザートバイキングで甘い物をお腹いっぱいになるまで食べていた入所者様もいました。

今度は、ご家族様も一緒に出掛けられるようなイベントを計画していきたいと思っていますのでよろしくお願ひします。



「おやつレク」

九月二十二日にGHフロアにて、ホットケーキミックスの粉を使用して『ホットドック』を作りました。

入所者様全員に泡立て機を持ってもらい、ひと混ぜつ手伝ってもらって、私の番はまだかしらっという顔で順番を待っている入所者様もいました。ウィンナーもちよつとかわいく、タコさんにしてみると「あー広がってきた」と喜びばれており、他のプレート上で生地を焼くとフロア内がすくいいにおいにつつまれていました。「まだっ?」と出来るのを待っている入所者様を見てスタッフも嬉しくなりました。



デイサービス

デイサービスでは六月、梅雨に入るといふ事で利用者みなさんに、てるてる坊主を作っていたきました。



た。デイサービスの玄関にかわいらしいてるてる坊主を飾り、梅雨が長雨にならないように…水害にあわないようにと祈りました。幸い今年の梅雨は長雨にもならず、利用者様の祈りが通じたようです。そしてあじさいを折り紙で折っていただきました。一つ一つの花びらは小さいものですが、大きな花に仕上げると迫力があってとてもきれいにデイサービスを飾ってくれました。

七月は七夕飾りをしました。短冊に願い事を書いていただきましたが、利用者様の多くは、ご家族様の健康でした。優しさ一杯の短冊を笹の葉に沢山つけて、みなさんと歌を唄ったりと童心に返って楽しんでいただきました。利用者様の中には、来所されると短冊に手を合わせてお祈りされる方もいらっしゃいました。願

い事は、きつと叶うと思います。

八月は、雨もほとんど降らずに、連日の猛暑。暑い中の来所で、利用者様が体調を崩してしまわないかとスタッフ一同心配していましたが、いつも、笑顔でいらして下さいました。少しでも夏を満喫していただくとうと、すいか割りを行いました。長い棒を持って、目はもちろん目隠し。スタート前には二周まわっていただきました。なかなかすいかに棒が当たらず、床を何度も叩いたので棒の先が割れてしまうハプニングもありましたが、すいかに当たり徐々に割れ目がみえはじめ、ついに二つに割



れました。以外にも最後に割って下さったのは、女性の利用者様でした。

女性パワーは、永遠なのです！大笑いしながらすいか割りは終わりました。おやつはもちろんすいかでした。スタッフが驚くほど沢山召し上がった利用者様もいらっしゃいました。とても暑い八月でしたが、夏バテする方もいらっしゃらず、みなさんお元気で、この夏を乗り切る事が出来ました。

九月 敬老会

残暑厳しい中、デイサービスでは十四日はフロアにて天ぶらを揚げて昼食を楽しんでいただきました。揚げたてはアツアツ、サクサクで利用者様も食が進んでいました。人気があったのはナスでした。やはり旬の物は



おいしいですよね。十八日は特養スタッフを中心に劇で「大きなかぶ」を行いました。熱演

ぶりに顔をほころばせていらっしゃいました。二十一、二十三日は利用者様と一緒におはぎ作りを行いました。もち米を手際良く研いで下さり、炊き上がるとつき棒でトントンと軽くつぶして団子に丸めていただきました。皆さんあんこも上手に包んでおはぎが完成しました。おやつにおいしく召し上がっていただきました。二十四日はボランティアさんによる太極拳を御覧いただきました。呼吸法を教え下さり利用者様と一緒にを行いました。





デイサービスセンター いちばん星



デイサービスセンター「いちばん星」は平成22年6月15日、市内淀川町に開所しました。定員15名の一般

型で、住み慣れたこの街で、安心して自分らしく暮らし続けられるように皆様のお手伝いをさせていただきます。いろいろ



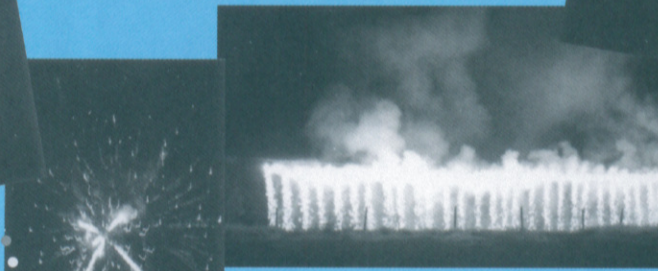
いちばん星では施設内に「足湯」があり利用者様に好評です。これから寒くなりますが、足湯につかって身も心もポカポカになって、寒い冬の日をいちばん星で元気に過ごして頂ける事と思います。
また施設を地域の憩いの場として、平日夜と休日に貸し出しを行っています。施設を有効に使用して頂き、地域に根ざした施設になるようスタッフ一同、日々頑張っています。



な創作活動や楽しいリクリエーションをたくさん用意して、利用者様をお待ちしております。

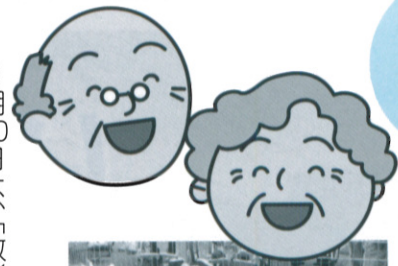
花火大会

8/6 金



敬老会

9/20月



9月20日は、「敬老の日」という事で、お祝いをしました。



今年は、敬老の日を1日利用者様に楽しんでもらえるようにと、移動動物園「動物村」を開設しました。ヤ

ギや羊、うさぎやモルモット、鶏や七面鳥等色々な動物が囲いの中で自由



由に触る事ができ、始めは怖がっ

ていた利用者様も、餌をあげているうちに慣れてきたのが、「かわいいね〜」「こっちにおいで〜」と、声を掛け、微笑みながら触れるまでになりました。



午後に行われた敬老会では、来賓の方々からお祝辞を頂き、百歳と米寿の方のお祝いと



職員の出し物で「大きなかぶ」(利用者様にも参加して頂く)を披露しました。今年のお祝いでは、

5名の方が対象となり、赤や白のちやんちゃんを着て会に参加して頂きましたが、その内4名様はCDフ

ロアの利用者様で、理事長からお祝いの言葉と贈呈品を頂いている姿をみ



たときにはフロアの職員は喜びもひとしおだったようです。



「大きなかぶ」では、利用者様にも数名参加して頂き、一緒にかぶを引っ張って頂



きました。事前に特大のかぶを利用者様と数日かけて一緒に手作りし、衣装も手作りしたのもあって、周りの掛け声や声援にも力が入り、かぶが抜けたときには、大きな笑いと感じに包まれていました。



秋祭り

10/3日



前日まで心配された天気も嘘のように晴れ渡り、暑いぐらいに気温が上がったなか星の郷秋祭りが



開催されました。今年のテーマは、「感謝」。利用者様からご家族様へ普段言えない気持ちを、

持ちをカードにこめ作成した物を、当日アーチつばいに貼り出しました。自分のカードを探す利用者様・利用者様のカードを探すご家族様、

見つけたときの嬉しそうな顔はとても印象的でした。

模擬店では、焼きそば・フランクフルト・星の郷焼き・綿あめ・クレープ・ポップコーン・輪投げ等色々出ており、金券片手に思い思いの物を買われ、ご



冬の太鼓、富士宮民謡会の踊り、そして一番利用者様が楽しみにしてお



家族様と又職員と一緒に買われた物を召し上がっておられました。催し物では、春夏秋

だったでしょうか？来年に向け何かアドバイスがあれば宜しくお願いします。

られたリーチェル幼稚園の鼓笛隊演奏があり、皆様とても楽しそうにステージを見て過ごされておりました。



何よりも一番力を入れたのが、職員の衣装。昨年に続きフロア毎に色やデザインを決め、どこよりも自立



つように、そして、利用者様やご家族様に気づいてもらいやすいように。いかが





健康づくりと休養【入浴も効果的な休養法の一つです。】

日本人にとって、日常生活でいちばんゆったりとくつろげるのはお風呂です。

入浴は、からだを清潔にするばかりでなく、血行をよくし、汗をかくなど、運動と同様の効果があります。また、裸になることによって、心の緊張がほぐれて、湯気の中で鼻歌も出るなど、ストレスの解消にも大きな効果があります。

洗いは、手、足の末端から、心臓へ向かってマッサージするように洗います。また、皮膚の刺激は脳に働きかけて気分をリラックスさせてくれます。

目的によって異なる風呂の適温



日本人は、一般に41～42℃の熱めの湯を好む傾向がみられますが、からだへの影響を考えると、お湯の適温は目的によって異なります。

例えば、42℃以上の熱い湯は交感神経が緊張し、新陳代謝が高まり、肉体疲労の回復に効果があります。一方、40℃以下のぬるい湯は、副交感神経が働いて気分を静めるため、安眠やストレス解消によいのです。

なお、就寝前は39℃程度のぬるめのお湯が効果的です。

- ★疲労回復によい
- ★日本人好みの温度
- ★安眠、ストレス解消によい



管理栄養士より



編集後記

寒さが段々と厳しくなってくる時期ですが、風邪等はひかれておりませんか？施設でも感染症対策で、職員だけでなく、ご面会に来られるご家族様にもマスクの着用と手指の消毒の協力をお願いしております。感染症にかかることなく冬が越せるよう気を引き締めていきたいと思っております。

遅い秋を感じに外を歩き、栗を拾ってきました。

ふと富士山を見たら綺麗に雪化粧した姿でしたので屋上にあがってみました。いつみても・・・。^o^



編集スタッフ

安部川陽子 磯野 仁美 芦川 正輝
橋本 歩 渡辺 哲也 望月 学
箕輪しのぶ 山本真由美 大平 裕司

平成21年度 社会福祉法人 富士宮福祉会 決算報告 貸借対照表

平成22年3月31日現在

■資産の部		■負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	245,740	流動負債	13,502
現金預金	168,296	未払金	12,274
未収金	76,990	預り金	1,228
その他	454	固定負債	229,102
		設備資金借入金	224,880
		退職給与引当金	4,222
		負債合計	242,604
固定資産	1,140,409		
基本財産	1,104,230		
その他固定資産	36,179		
建物	1,376		
構築物	1,261		
機械及び装置	9,815		
車両運搬具	796		
器具及び備品	8,674		
その他積立金	10,035		
その他固定資産	4,222		
資産合計	1,386,149		
		■純資産の部	
		科 目	金 額
		基本金	261,333
		国庫補助金等特別積立金	645,784
		その他の積立金	10,035
		次期繰越活動収支差額	226,393
		(うち当期活動収支差額)	(26,677)
		純資産合計	1,143,545
		負債・純資産合計	1,386,149

脚注
減価償却の累計額 427,987千円